

学習の森 中ノ沢溪谷森林公園 報告 ver 121

R7-daikan syokou fukinotou tubomiodasu 121 R07.01.25up

「大寒初候：款冬華（ふきのはなさく） 落の薑（ふきのとう）が蕾を出す」

七十二候 1月20日～1月24日頃落の薑が蕾を出すとあります。

1月19日（日）森林科学館前の流紋岩溶岩崖斜面からなだらかな処、夏場はキャンプ場にも設定されている処、積雪はかなりあります。其処にはよく見ると広葉樹低木が冬の寒さの中でしっかりと冬芽を膨らませていました。まだ小さな冬芽ではありますが、今年に入ってその観察をゆくりしたいと小生の思いの膨らみも徐々に強くなってきました。

そこで森林科学館明石浩見館主にお願いして、小樹にテープ巻付け樹木名を記載して貰いました。明石館主は長靴履きで、みずすましのようには雪の原の小樹にテーピングをしていきますが小生はカンジキ履きでその跡を辿って、愛用のニコンカメラを中心に撮影して行きました。

撮影は、樹名、樹形、枝先の冬芽の順に取り組みますが、冬芽の詳細拡大写真はピントがなかなか合わず苦労しました。結局は枚数を多く撮って帰宅後にパソコン上で拡大等編集してうまく姿を確認することとしました。結局は撮影枚数300枚ともなり編集に多大の時間を要することとなりました。

撮影樹木は、26樹木ですが同名の樹木もあり樹木種で18樹となりました。

この樹木はテーピングしてありますので、この冬中の観察項目として楽しみ、芽が膨らんで花となり葉となる姿を捉えることができればと思います。更に近傍地域での観察も楽しむことができればと思います。

観察樹木は、最終的に、学名なども調べ、樹木の特徴などを盛り込み一覧にできればと思います。

観察した樹木名は、リョウブ、ウリハダカエデ、コハウチワカエデ、ツルアジサイ、エゴノキ、ウワミズザクラ、ハクウンボク、アブラチャン、イタヤカエデ、ヤマモミジ、オオカメノキ、ホオノキ、オオバクロモジ、ヤマウルシ、イワガラミ、オオヤマザクラ、コシアブラ、クマヤナギの18種でした。

幾つかの例を表示してみます。

1 観察樹木の冬芽等報告

リョウブ 樹名	樹形	冬芽
 果実残 		 リョウブ 冬芽 頂芽長 3～7mm 円錐形 芽鱗 2～3個 剥落易 裸芽 成多 側芽発達無 葉痕 三角形 or ハート形 維管束痕 1個 果実痕 R07.01.19AM1002 D5300

ウリハダカエデ
樹名 冬芽



樹形



冬芽



ウリハダカエデ 対生 冬芽水滴形柄有 枝先頂芽 1 個付 見芽鱗 2 枚 葉痕細 V~U 字形 枝極細 無毛艶有 幹緑色黒縦縞
R07.01.19AM1004 D5300

コハウチワカエデ
樹名



樹形



冬芽

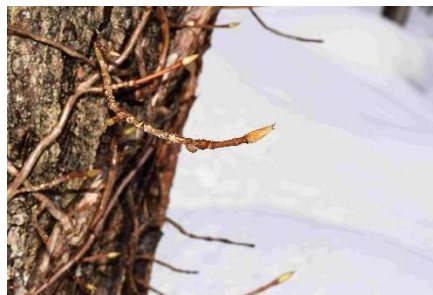


コハウチワカエデ 冬芽 短円錐形 枝先仮頂芽 2 個見芽鱗 2~3 枚 葉痕 三日月形 維管束痕 3 個
R07.01.19AM1007 D5300

ツルアジサイ
樹名



樹形



冬芽



ツルアジサイ 対生 冬芽水滴形 見芽鱗 2 枚 側芽十字対生 葉痕 三日月形 枝太若枝毛残古枝無毛 氣根出 裝飾花 4or3 個萼片 冬枯裝飾花 or 果実残
R07.01.19AM1010 D5300

エゴノキ
樹名



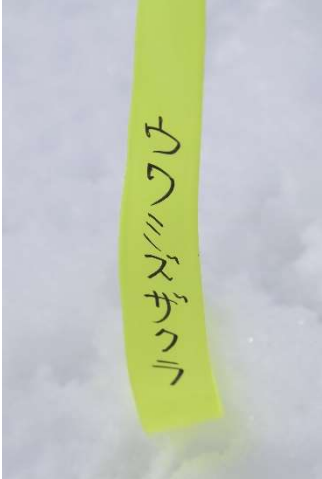


樹形



冬芽



エゴノキ 互生 冬芽 長卵形裸芽 主芽下必予備芽伴 冬芽褐色 星状毛密生 葉痕 半円形隆起 幹 黒細縮緬状皺
R07.01.19AM1012 D5300

<p>ウワミズザクラ 樹名</p> 	<p>樹形</p> 	<p>冬芽</p>  <p>ウワミズザクラ 互生 冬芽 卵形～水滴形 艶有 葉痕 半円形 2年枝冬芽落枝痕縁出来 R07.01.19AM1015 D5300</p>
---	--	---

※ 今回報告は1月19(日)撮影樹木の冬芽等の報告の一部です。

※ 表の中で表すために写真の撮り方もう一工夫が必要です、今度現地伺った時に撮り方再修正してみます。

R07.01.25 記録 up